

部局名	子ども部			所属名	しろばら幼稚園			所属長名	鈴木 松代			電 話	484-7321		
-----	------	--	--	-----	---------	--	--	------	-------	--	--	-----	----------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3422		事務事業名称	しろばら幼稚園維持管理事業							短縮コード	経常	3422	臨時	3862																					
予算区分	会計	01	一般会計		款	10	教育費			項	04	幼稚園費																								
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		学校教育法第1条及び第77条～82条																													
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																																				
しろばら幼稚園は,保育料が安く誰でも入りやすい公立幼稚園がほしいという市民の願いもあり,昭和47年10月1日に創立された。同時に事務事業の開始となった。																																				
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして																												
平成20年度に,公立幼稚園の存続について「あり方検討委員会」を設け,しろばら幼稚園の今後のあり方について保護者と共に検討していった。検討の結果幼児教育を充実させていくという提言書を提出して,平成23年度末をもって廃止との結論になる。						大項目（節）	01	学校教育																												
						中 項 目	01	幼児教育																												
						小項目（施策）	01	幼児教育の充実																												
						細 項 目	01	幼稚園の充実																												
							02	就園機会の拡充																												
						実施計画の計画事業																														
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成20年4月 ～ 平成21年3月			計画事業費		千円																								

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	1 4歳児から5歳児の幼児とその保護者 2 施設・設備														
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 幼稚園・小学校（勝田台南小学校）の連携を図るとともに,施設設備の整備を行い保育の充実に努めた。 1 園庭の整備・清掃 2 遊具の点検 3 施設内部の整備・清掃等														
	※平成22年度に計画していること： 上記の内容を計画的・継続的に実施する。														
意図 （何を狙っているのか）	安全で,快適な環境での保育														
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外														
区 分					単位	20年度		21年度			22年度				
						実績		計画		実績	計画				
対象指標	指標1	在園児数				人	61	70	57	55					
	指標2	施設・設備の定期的点検実施				%	100	100	100	100					
	指標3														
活動指標	指標1	定期的な計画的点検整備				%	100	100	100	100					
	指標2														
	指標3														
成果指標	指標1	施設・設備の不備を原因とする園内での事故発生件数				%	0	0	0	0					
	指標2	安全・快適度(数値化については課題としたい)													
	指標3														
上位成果指標	指標1														
	指標2														
	指標3														

コード	3422	事務事業名称	しろばら幼稚園維持管理事業				所属名	しろばら幼稚園
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			H23年度末をもって廃止となるが、それまでは現状を維持し、改善できることはしていき、最後まで幼児教育の充実を図っていく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			H23年度末をもって廃止となるが、それまでは現状を維持し、改善できるところはしていき最後まで幼児教育の充実を図っていく。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
1 園庭の整備や遊具を充実してほしい 2 園バスがほしい 3 安全で安心できる園 等									

所属長コメント	・平成23年度末をもって廃止となるが、それまでは、最善をつくし、教育成果に努めていく。 ・保護者と協力をして園を運営していき、子どもにとってより良い保育に心がけていく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			市立幼稚園としての所期目的を達成したことから、平成23年度末の廃園が決定されている。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									